

教育現場の通訳実践

伊丹市外国人児童生徒適応指導員

王龍藝群

はじめに

- ・ 通訳が必要な児童たちの現状

1. 通訳と言葉（母国語と外国語）について

- ・ 第2、第3外国語にしっかりした土台のある母国語の重要性

- ・ 文化や習慣の違いを知ることが良き通訳になる（新聞を読み、読書をする）

（以下は中国の新聞の抜き出しである）

温家宝声情并茂地说：“今天上午，（日本）国会给我一个演讲的机会，讲完后我第一个给我的母亲打电话，因为她经历了近90年的沧桑历史。我问妈妈：‘我讲的怎么样？’她说：‘孩子，你讲的很好！’因为从小她就要我讲真话讲心里的话，她认为我今天是用心在说话的！”

=== > 色々な違いが判る

- a) 日中言葉の基本になる文法の違い、
- b) 敬語の使い方の違い
- c) 称呼の違い
- d) 句読点の使い方の違い
- e) 「老人を尊敬する」国柄の様子

=== > 通訳の為の背景説明の重要性（それが無いと理解できない、又は誤解してしまう場合も）

- ・ 漢字字面は同じ意味でも使う習慣に違い有り

例 運動場、卓球、娘、手紙

2. 教育現場での子どもたち・保護者と通訳の関わり

- ・ 母語と違う環境の中の子どもの心

劣等感が子どもの成長を阻む

自分の生活していた国の様子を一所懸命教えたがる子&隠したい子

== > 自己価値の低下を防ぎ、心を安定させることの大切さ

- ・ その国への憧れ、興味が学習向上の推進力となり
 子どもは良き友達関係がその推進力になる
 友達を作る仕掛けを作る

- ・ 保護者や児童に起こりうるものを想定し、詳しい説明をする
 学校教育システムの違いや教育上の狙いの適時説明
 例 6月プール開きの水温
 給食費と学費の違い
 泣いた中学校の入学式

- ・ 保護者に安心してもらい、児童の心の安定と学校への安心感を与える
 コミュニケーションを取る工夫

- ・ どんなサポートが必要かを判断する。
 子どもの心理と周りの友達の反応を見て、判断する。(異文化理解学習の取り組み
 が必要な場合も有る。)
 繋ぐ役割 = > 保護者と保護者、保護者と先生、児童と友達、児童と先生
 例 厚着
 ヤゴ取り用の箱
 水筒の中の水

まとめ

- ・ 教育現場での通訳の必要性和今後の課題
 例 自然学校帰りの出来事